

オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業
地域セミナー

日 時：平成 30 年 10 月 24 日（水） 14 時 30 分～16 時 00 分

場 所：愛媛県松山市堀之内 愛媛県美術館研修室

参加者数：23 名（推進校 11 名、自治体 9 名、大学 2 名、パラサポ 1 名）

概 要：

1. 開会

2. 主催者あいさつ

愛媛県スポーツ・文化部スポーツ局長 齋藤 直樹

3. 事業の説明

- ① オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業概要及び事例紹介
オリパラ教育に関するアンケートについて

筑波大学体育系助教 大林 太朗

- ② 教育教材「I'm POSSIBLE」の効果的活用について

日本財団パラリンピックサポートセンター推進戦略部プロジェクトリーダー
山本 恵理

4. 今年度における事業の進め方

愛媛県スポーツ・文化部 担当者

5. 質疑応答

6. 閉会

内容詳細：

● 開会、主催者あいさつ

愛媛県スポーツ・文化部スポーツ局長齋藤氏より挨拶があった。

● 事業の説明

筑波大学体育系助教大林氏より、本事業の趣旨や目的、事業内容、オリンピック・パラリンピックの歴史や理念について紹介された。また、昨年度の各地域における特

徹的な実践事例、スポーツ庁や東京都教育委員会、IOC（国際オリンピック委員会）の教材が紹介された。最後に、アンケート調査の依頼の説明がなされた。

次に、日本財団パラリンピックサポートセンター推進戦略部プロジェクトリーダー山本氏より教育教材「I'm POSSIBLE」の効果的活用についての説明がなされた。リオデジャネイロパラリンピックのダイジェスト映像を視聴した後に、実際に教材を用いて「公平」をテーマに活用方法の紹介がなされた。道徳教育やリバースエデュケーション（子供から両親や祖父母を教育すること）としても活用することができ、障がい者スポーツやパラリンピックだけでなく、生徒が「物事について多方面から柔軟に考えること」や「当事者の意見を尊重すること」などを学ぶことができると確認された。また、パラスポーツメッセンジャーについての紹介もなされた。

- **今年度における事業の進め方**

愛媛県スポーツ・文化部文化局文化振興課文化振興グループ主任済川氏より、事業のスケジュール、講師招聘の際の事前・事後学習、年度末ワークショップ、次年度に向けた実践事例のリーフレット作成についての説明がなされた。最後に、大会後もレガシーとして持続されるような実践を行うことが推奨された。

- **閉会挨拶**

愛媛県スポーツ・文化部スポーツ局競技スポーツ課主幹須山氏より挨拶があった。

- **質疑応答**



写真 1. 会場の様子①



写真 2. 会場の様子②